

人権理事会 子どもの権利に関する会合に高等弁務官がメッセージ

2024/03/14

国連人権高等弁務官事務所

人権理事会で行われた子どもの権利に関する全日会合に、人権高等弁務官がビデオメッセージを寄せた。内容は以下のとおり。我が事務所は人権理事会の要請に応じて、「子どもの権利の主流化に関する事務総長ガイダンスノート」を昨年7月に公表した。ガイダンスノートは「行動の枠組み」を国連全体に向けて示し、我が事務所と人権メカニズムに具体的な責任を課している。その指導原則は、子どもの人権に影響を与える全ての意思決定プロセスでの子どもの関与を確保する必要性を強調する。各国政府には我々と共に、子どものあらゆる権利を促進するために子どもの権利に基づくアプローチを採用し、ローカル・国内・地域・国際的討論への子どもの安全な参加のために一貫性のあるアクセスしやすいルートを確保するよう求める。また、国連全体での子どもの権利の主流化においてリーダーシップを発揮するために、子どもの権利に関する我が事務所の能力への投資も求めたい。